

問1 岩倉使節団が帰国した後、日本の政治方針にどのような影響を与えましたか。その背景を含めた説明として正しいものを選びなさい。 (2024年

茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 海外の植民地支配の様子を目の当たりにしたことで、日本も即座に清や朝鮮への軍事侵攻を開始すべきだという意見で政府内が一致した | 2. 欧米の議会政治を模倣するため、帰国直後にすべての国民に参政権を与える普通選挙法を制定した | 3. 欧米のキリスト教文化を日本に定着させるため、仏教を廃止してキリスト教を国教とする制度を導入した | 4. 欧米の進んだ国力を見た大久保利通らは、武力による外征よりも、まず学校の建設や産業の育成といった内政の整備を優先すべきだと主張した |
|--|---|--|---|

問2 明治政府が近代国家の仕組みを整えていく過程において、1868年の「五箇条の御誓文」から1889年の「大日本帝国憲法」発布に至るまでの政治の流れを説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 王政復古の大号令によって直ちに国会が開設され、その直後に廃藩置県によって地方自治が完成した | 2. 広く会議を興すという方針が示された後、自由民権運動の高まりを受けて国会開設が約束され、立憲国家の体制が整えられた | 3. 文明開化の影響で国民の政治への関心が失われたため、政府は国会を開設せずに内閣制度だけで統治した | 4. 欧米の技術を取り入れるために、憲法の制定よりも鎖国体制の維持を優先し、武士の身分を強化した |
|--|---|--|--|

問3 1873年(明治6年)に明治政府が実施した地租改正において、税の算定基準と納入方法の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2015年

大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 土地の耕作者に、収穫量を基準として米で納めさせた。 | 2. 土地の所有者に、収穫量を基準として現金で納めさせた。 | 3. 土地の所有者に、地価を基準として現金で納めさせた。 | 4. 土地の耕作者に、地価を基準として米で納めさせた。 |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|

問4 明治初期、岩倉具視を全権大使として欧米諸国に派遣された使節団のメンバーに関する説明として正しいものを選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 徳川慶喜が幕府の代表として、フランスとの同盟強化のために参加した | 2. 西郷隆盛や板垣退助が、欧米の軍事技術を視察するために参加した | 3. 勝海舟が全権大使となり、福沢諭吉が通訳として同行した | 4. 大久保利通や木戸孝允、伊藤博文らが副使として同行した |
|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|

問5 明治政府が1872年に群馬県に設立した、生糸の輸出拡大と生産技術の向上を目的とした官営模範工場の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 長崎造船所 | 2. 八幡製鉄所 | 3. 富岡製糸場 | 4. 足尾銅山 |
|----------|----------|----------|---------|

問6 1872年に明治政府が公布した、日本初の近代的な学校制度に関する説明として、内容が正しいものを選択してください。 (2024年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|--------------------------------------|
| 1. 武士の身分を持つ男子のみを対象として、藩校での教育を義務付けた。 | 2. 身分や男女の区別なく、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。 | 3. 日本独自の伝統を重視し、戦後の教育の基本原則を定めた教育基本法に基づいている。 | 4. 女性の参政権を確立するために、高等教育への進学を全国民に強制した。 |
|-------------------------------------|---|--|--------------------------------------|

問7 1872年に公布された「学制」の目的や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 授業料をすべて国費でまかない、国民に金銭的な負担を一切かけずに義務教育を普及させようとした。 | 2. 個人の尊厳を重んじ、民主的な社会の形成者として必要な教育の基本を定めるために制定された。 | 3. 身分や性別による区別をなくし、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。 | 4. 天皇に対する忠誠や道徳の基準を示し、国民としての精神的な柱を確立することを主目的とした。 |
|---|---|---|---|

問8 明治時代初期の教育制度に関する説明として、当時の建築的特徴や制度の背景をふまえたものとして最も適切な記述を選択してください。 (2023年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 江戸時代の寺子屋や藩校の教育内容をそのまま継承することを目的とし、伝統的な和風建築による校舎の整備が全国で進められた。 | 2. 天皇に対する忠誠や愛国の精神を教育の基本とするために発布され、全国の学校で道徳教育の柱として活用された。 | 3. 個人の尊厳と真理の探究を目的として戦後に制定され、義務教育の期間を6年から9年に延長することが定められた。 | 4. 「国民皆学」の理念のもとで近代教育が推進され、長野県の旧開智学校のように和洋折衷の「擬洋風建築」を用いた校舎が建設されるなど、近代化の象徴となった。 |
|--|---|--|---|

問9 明治政府は近代国家をつくるために様々な改革を行いました。その一環として、1872年に全国統一の戸籍を編纂して国民の情報を把握し、その翌年に発令された、満20歳になった男子に兵役を義務づけた法令を何といいますか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|--------|----------|----------|
| 1. 国家総動員法 | 2. 徴兵令 | 3. 治安維持法 | 4. 武家諸法度 |
|-----------|--------|----------|----------|

問10 地租改正の内容とその後の経過について説明した文として、正しいものを選びなさい。 (2026年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 地租改正によって農民の税負担は江戸時代よりも大幅に軽くなり、農村の生活はすぐに豊かになった。 | 2. 当初、税率は地価の3%とされたが、各地で反対一揆が起こったため、のちに2.5%に引き下げられた。 | 3. 地租改正によって現金での納税が始まると、米の価格が下落したため、政府はすぐに物納に戻した。 | 4. 税を納める義務は、土地を耕作している小作人に課せられ、土地の所有者は免除された。 |
|---|---|--|---|

問11 1869年、明治新政府は中央集権体制を確立する第一歩として、各地の藩主に対し、それまで支配していた領地と領民を天皇に返上させました。この出来事の名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 徴兵令 | 2. 地租改正 | 3. 版籍奉還 | 4. 廃藩置県 |
|--------|---------|---------|---------|

問12 明治政府が、欧米諸国に対抗できる経済力をつけるために、西洋の近代的な技術や機械を導入して産業の育成を図った一連の政策を何といいますか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 殖産興業 | 2. 富国強兵 | 3. 文明開化 | 4. 地租改正 |
|---------|---------|---------|---------|

問13 明治政府が富岡製糸場などの官営模範工場を設立した目的として、当時の状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---------------------------------------|
| 1. 地租改正による税収不足を補うため、政府が直接利益を上げて国家予算に充てるため | 2. 農村の余剰労働力を吸収し、江戸時代から続く伝統的な手工業を保護するため | 3. 絹製品の輸出を禁止し、国内の軍服の材料として絹糸を独占的に確保するため | 4. 西洋の優れた機械や技術を日本国内に紹介し、民間産業の近代化を促すため |
|---|--|--|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 欧米の進んだ国力を見た大久保利通らは、武力による外征よりも、まず学校の建設や産業の育成といった内政の整備を優先すべきだと主張した	約1年10ヶ月にわたる視察を通じて、大久保利通らは欧米諸国との圧倒的な国力差を実感しました。帰国後、彼らは「内治優先」を掲げ、留守政府が進めていた朝鮮への使節派遣（征韓論）に反対しました。この対立によって西郷隆盛や板垣退助らが政府を去り、大久保利通を中心とする学制・地租改正・徴兵制などの近代化政策が強力に推進されることとなりました。
問2	答え 2 広く会議を興すという方針が示された後、自由民権運動の高まりを受けて国会開設が約束され、立憲国家の体制が整えられた	五箇条の御誓文で「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という公議世論の尊重が掲げられました。その後、板垣退助らによる自由民権運動が活発化し、政府は「国会開設の勅諭」を出して10年後の国会開設を約束しました。これに合わせ、ドイツ（プロイセン）の憲法を参考に大日本帝国憲法が作成され、近代的な立憲国家の形が作られました。
問3	答え 3 土地の所有者に、地価を基準として現金で納めさせた。	明治政府は財政を安定させるため、それまでの豊凶によって収める額が変動する仕組みを改めました。土地の価格である地価を基準に定め、その3%（のちに反対一揆を受けて2.5%に減税）を、土地の所有者に現金で納めさせることとしました。これにより、政府は農作物の収穫量や価格の変動に左右されず、計画的に予算を立てることが可能になりました。
問4	答え 4 大久保利通や木戸孝允、伊藤博文らが副使として同行した	岩倉使節団には、政府の首脳である木戸孝允、大久保利通、伊藤博文らが参加しました。一方で、西郷隆盛や板垣退助、大隈重信らは留守政府として日本に残り、国内の政治を担いました。この視察組と留守政府組の認識の差が、後の征韓論争や明治六年の政変につながることになります。
問5	答え 3 富岡製糸場	明治政府は「富国強兵」や「殖産興業」の政策を進める中で、当時最大の輸出製品であった生糸の品質向上と増産を図りました。そのためにフランスの技術を導入して設立されたのがこの工場です。現在はその歴史的価値が認められ、世界文化遺産に登録されています。
問6	答え 2 身分や男女の区別なく、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するためには国民全体の知識水準を引き上げることが不可欠であると考え、1872年に「学制」を公布しました。これにより、それまでの身分制に基づいた教育ではなく、身分や男女の区別を廃した「国民皆学」の理念が掲げられ、すべての子供が小学校に通うことが義務付けられました。
問7	答え 3 身分や性別による区別をなくし、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。	学制は、それまでの身分に応じた教育ではなく、個人の立身出世が国家の発展につながるという考え方（実学重視）に基づき、すべての子供に教育の機会を与えようとした。なお、当時の授業料は家族の負担であったため、生活の苦しさから反対一揆が起こることもありました。天皇への忠誠を強調したのは1890年の教育勅語、個人の尊厳を掲げたのは1947年の教育基本法です。
問8	答え 4 「国民皆学」の理念のもとで近代教育が推進され、長野県の旧開智学校のように和洋折衷の「擬洋風建築」を用いた校舎が建設されるなど、近代化の象徴となった。	1872年に発布された学制により、日本各地で近代的な教育を受けるための学校建設が進められました。その際、伝統的な日本の大工技術に西洋風のデザインを取り入れた「擬洋風建築」と呼ばれるスタイルの校舎が造られ、長野県の旧開智学校はその代表例として知られています。当初は授業料の負担が重く、反対一揆が起こることもありましたが、政府は国民皆学を強く推し進めました。
問9	答え 2 徴兵令	明治政府は「富国強兵」のスローガンのもと、近代的な軍隊を創設しようとした。そのためには、誰がどこに住んでいるかを正確に把握する必要があったため、1872年に日本初の近代的な戸籍（壬申戸籍）を作りました。この情報をもとに、1873年、身分に関わらず一定の年齢に達した男子に軍務を課す法令が定められました。
問10	答え 2 当初、税率は地価の3%とされたが、各地で反対一揆が起こったため、のちに2.5%に引き下げられた。	地租改正による税負担は、これまでの年貢と変わらないほど重いものであったため、各地で「地租改正反対一揆」が発生しました。これを受けて明治政府は、1877年に税率を地価の3%から2.5%へと引き下げました。なお、納税の義務を負ったのは耕作者ではなく、地券を交付された「土地の所有者」です。
問11	答え 3 版籍奉還	「版」は領地、「籍」は領民（戸籍）を指します。戊辰戦争を経て新政府の基盤を固める中、薩摩・長州・土佐・肥前の4藩主が率先して願い出たことをきっかけに全国で実施されました。これにより、形式上すべての土地と人民が天皇の統治下に入ることとなりました。
問12	答え 1 殖産興業	明治政府は、軍隊を強化して国の独立を守る「富国強兵」を実現するため、その経済的基盤となる産業を振興させる「殖産興業」を推進しました。この政策により、通信（電信）、交通（鉄道）、郵便などの制度が整えられるとともに、近代的な工業化が進められました。
問13	答え 4 西洋の優れた機械や技術を日本国内に紹介し、民間産業の近代化を促すため	当時の日本にとって、主要な輸出製品であった生糸の品質向上と増産は、外貨を獲得するために非常に重要でした。政府はフランスの技術を取り入れた富岡製糸場を建設し、そこで最新の技術を習得した工女たちが全国各地の製糸場へ戻って技術を伝播させることで、日本全体の産業水準を引き上げようとした。